

株主・投資家の皆さまへ

【東証プライム市場 証券コード：3655】

株式会社ブレインパッド 2025年6月期 第3四半期 決算について

2025年 6月

株式会社ブレインパッド
代表取締役社長 CEO 関口朋宏



はじめに

本日(6月2日)より、PIVOT公式チャンネルにて配信が開始されます

「AI普及の落とし穴」「AIエージェントで変わる働き方」「AIブームの現在地と未来」
という3つのテーマで、日本の生産性改善のカギとなるAIエージェントの可能性について語りました



目次

■ 株式会社ブレインパッドのご紹介

■ エグゼクティブサマリ

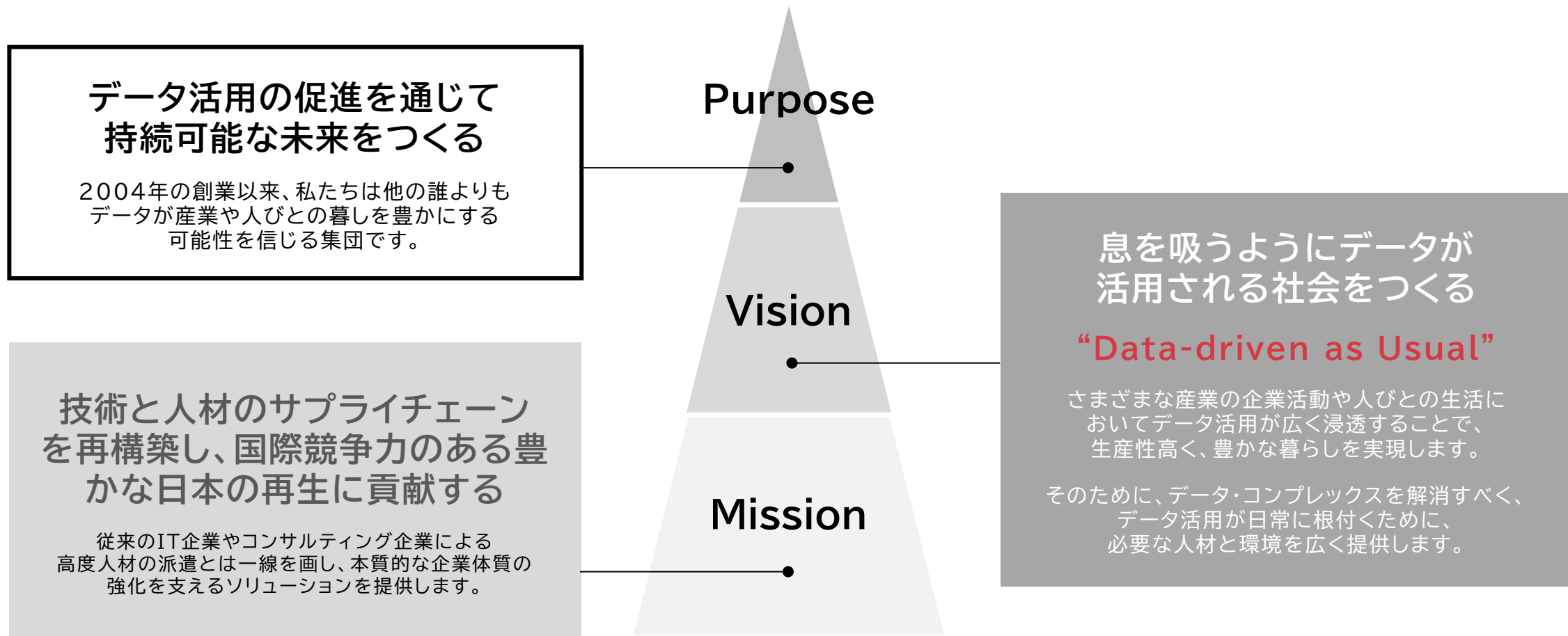
■ 2025年6月期 第3四半期のトピックス

[本資料について]

- 「20XX年6月期」を「FYXX」、「第X四半期」を「XQ」と記載している箇所があります
- 当社は、FY22の連結財務諸表を作成しておりません。本資料においては、便宜的にFY22の業績として単体数値を用いたうえで、過年度比較を行っております
- 事業セグメント名の略称を、以下のように記載しております
 - ・ プロフェッショナルサービス事業 … PF事業 ※PF事業は、データ分析、システム開発を含むコンサルティング、人的支援を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です
 - ・ プロダクト事業 … PD事業 ※PD事業は、自社製および他社製プロダクトの提供を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です

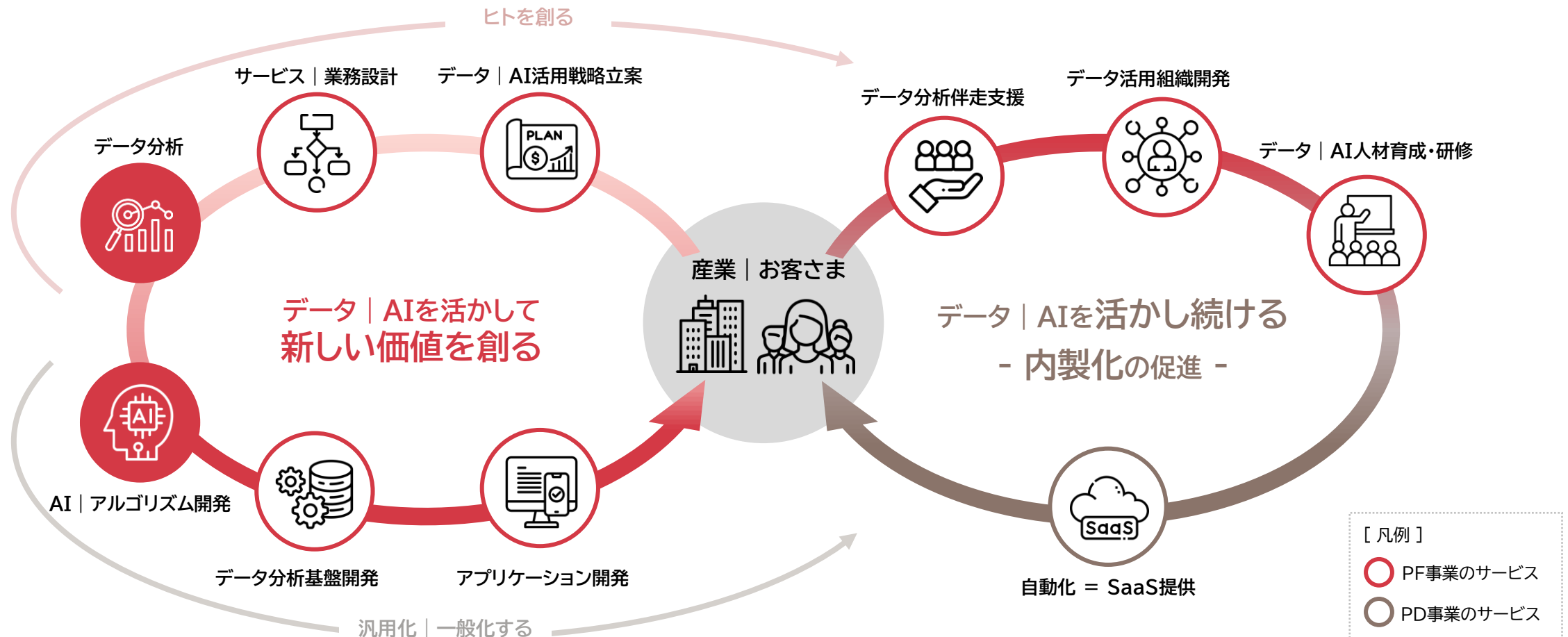
BrainPad Inc. is one of the best Data&AI companies in Japan

ブレインパッドは、日本を代表するデータ/AI活用のリーディングカンパニーです



ケイパビリティ：一社で完結できる、データ/AIによる価値創造のバリューチェーン

- データ・AI活用による「新しい価値の創造」のみならず、創業来20年間の圧倒的な経験値を糧にしたヒトづくりやモノづくりを通じてデータ・AI活用を「企業・産業に根付かせる」という、これまでにない新しい価値を提供



模倣困難性 : 三位一体による内製化支援と、それを支える人材力・プロジェクト経験値

模倣困難性 1

三位一体のビジネスモデル

- ① プロフェッショナル支援、② 人材育成・教育、③ プロダクト提供の3つのビジネスモデルを、一社で組み合わせて提供
- 3つを併せ持つ企業は世界的にも珍しい

模倣困難性 2

業界一のデータサイエンティスト組織

- 業界No.1規模の200名超の人材の量と質
- 創業間もなく他に先駆けて新卒を採用し、組織拡大を続ける採用力・育成力・組織力
- ほぼ全員がプロジェクトワークに従事して収益貢献(稼げる集団)

模倣困難性 3

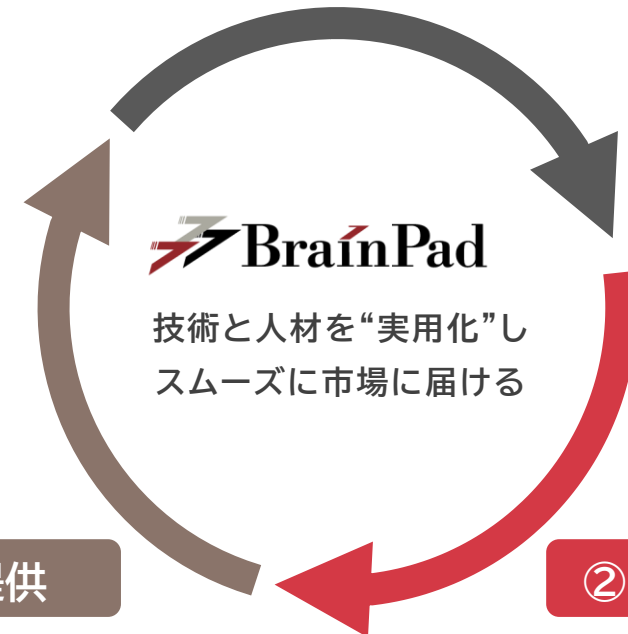
20年のデータ/AIプロジェクト経験

- 創業来20年間、全ての売上高が、データ/AI活用をテーマとするもの
- データ/AIを価値に変えるという本質からブレない提案品質とデリバリー能力

三位一体のビジネスモデルによるデータ活用の民主化と内製化支援

業界随一のデータ専門集団によるビジネス適用

① 分析/コンサルティング/SI



③ SaaS提供

人のスキル不足を補う
実践的なソフトウェア

② 人材育成・教育

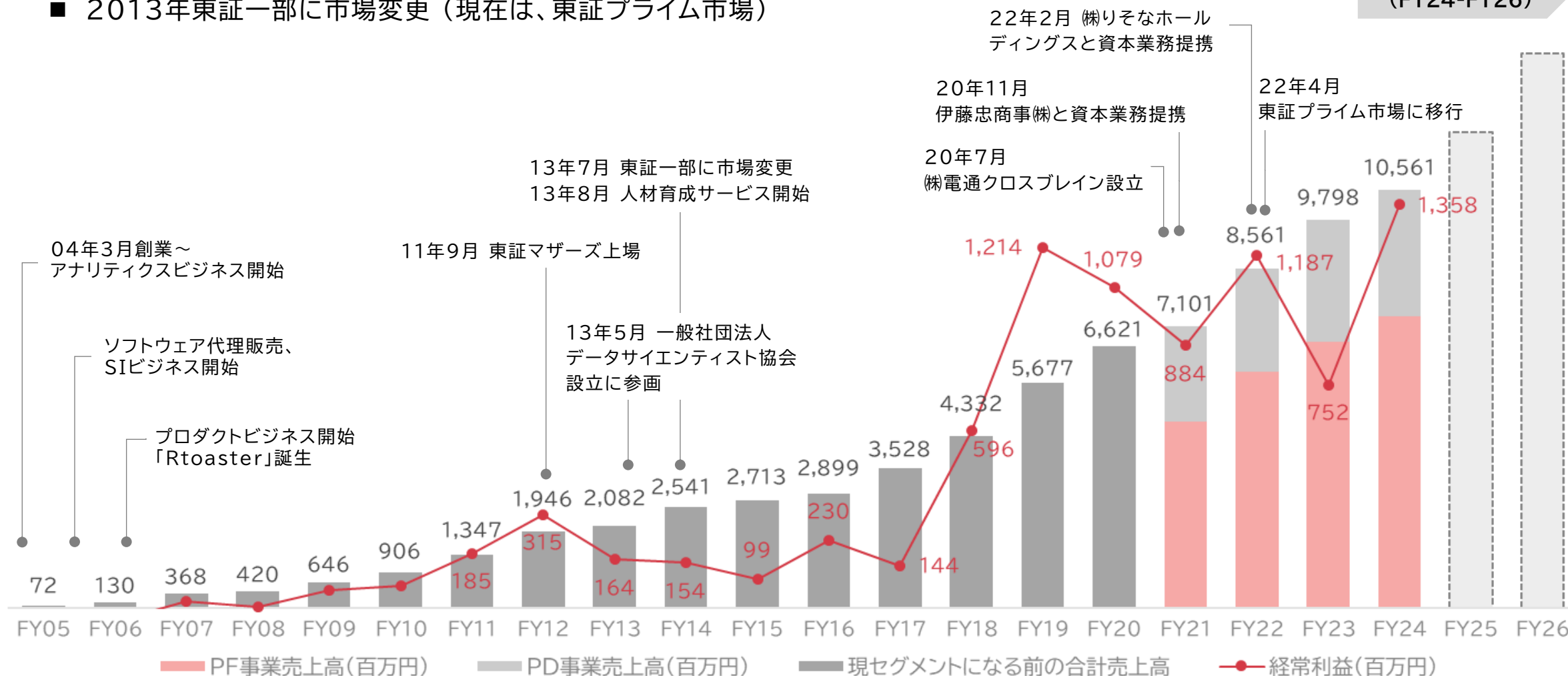
ポテンシャル人材の
発掘とリスクリング

上記①②が主にPF事業、③が主にPD事業に分類されます

成長の軌跡：データ活用の重要性を予見して2004年創業、20期連続増収

- 2011年9月にデータ分析専業として初の東証マザーズ上場
- 2013年東証一部に市場変更（現在は、東証プライム市場）

現・中期経営計画
(FY24-FY26)



主なクライアント ～各業界のトップ企業から指名されてきた実績

- 特定の業界に特化せず、各業界において日本を代表する企業のデータ活用・DXを支援
- 以下は、これまでに当社との取引実績があり企業名等の公表を許可いただいている、または、プレスリリースやメディア掲載等で取引実績のあることが公知となっている顧客を抜粋



(2025年5月9日現在、敬称略、順不同)

小売・流通・卸売	伊藤忠商事(株)、全日空商事(株)、(株)高島屋、ウエルシア薬局(株)、(株)コナカ、(株)自由が丘フラワーズ、(株)セレクトスクエア、(株)そごう・西武、(株)DINOS CORPORATION、(株)バロックジャパンリミテッド、(株)セブン&アイ・ネットメディア、(株)ローソン、スターバックスコーヒージャパン(株)、アスクル(株)、パルシステム生活協同組合連合会、(株)阪急阪神百貨店
製造	トヨタ自動車(株)、アサヒグループジャパン(株)、キューピー(株)、麒麟ビール(株)、(株)ニトリホールディングス、日本コカ・コーラ(株)、ユニ・チャーム(株)、(株)オンワードホールディングス、(株)晃祐堂、(株)SABON Japan、資生堂ジャパン(株)、(株)島津製作所、(株)スタイリングライフ・ホールディングス BCLカンパニー、西川(株)、日産自動車(株)、日本たばこ産業(株)、(株)ピーチ・ジョン、(株)ファンケル、東芝データ(株)、三菱電機(株)、ライオン(株)、(株)オンデーズ、キッコーマン(株)、サンスター(株)、ディーゼルジャパン(株)、フジッコ(株)、(株)富士フイルム ヘルスケア ラボラトリー、(株)マウスコンピューター、UCCホールディングス(株)
金融	(株)りそなホールディングス、(株)三菱UFJ銀行、(株)山口フィナンシャルグループ、(株)ゆうちょ銀行、(株)静岡銀行、(株)足利銀行、(株)伊予銀行、(株)横浜銀行、東海東京証券(株)、松井証券(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、(株)イオン銀行、(株)SBI新生銀行、(株)百十四銀行、三井住友信託銀行(株)、SMBC日興証券(株)、大和証券(株)、(株)オリエントコーポレーション、(株)ジェシービー、(株)マネースクエア
旅行・航空・運輸	日本航空(株)、九州旅客鉄道(株)、ヤマト運輸(株)、(株)日本旅行、(株)読売旅行、ヒルトン・ワールドワイド
IT・情報・通信	グーグル合同会社、LINEヤフー(株)、ソフトバンク(株)、エアロセンス(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、オーエムネットワーク(株)、(株)大塚商会、(株)クラウドワークス、メディカル・データ・ビジョン(株)、(株)アイスタイル、(株)NTTドコモ、ダイワボウ情報システム(株)、トレンドマイクロ(株)、(株)ユニメディア
電力・エネルギー・建設	大東建託(株)、近鉄不動産(株)、野村不動産ソリューションズ(株)、ミサワホーム(株)、八千代エンジニアリング(株)、積水ハウス(株)、三井不動産レジデンシャルリース(株)
メディア・広告・エンタメ・その他	ぴあ(株)、農林水産省、国立大学法人大阪大学、アイティメディア(株)、(株)日本ビジネスプレス、(株)インタースペース、(株)CyberZ、大日本印刷(株)、(株)セガ、エン・ジャパン(株)、キャリアス就活(株)キャリアス)、(株)マイナビ、(株)リクルートスタッフィング、(株)カカクコム、(株)さとふる、(株)ミクシィ、(株)ADKマーケティング・ソリューションズ、(株)バンダイナムコネクサス、(株)ビズリーチ、(株)ベネッセコーポレーション、(株)デルフィス、(株)博報堂プロダクツ、(株)マツキャンエリクソン、(株)エキスパートスタッフ、(株)スタッフブリッジ、(株)日経HR、(株)パソナテック、(株)イタミアート、(株)イノバーター・ジャパン、(株)らしんばん

目次

■ 株式会社ブレインパッドのご紹介

■ エグゼクティブサマリ

■ 2025年6月期 第3四半期のトピックス

[本資料について]

- 「20XX年6月期」を「FYXX」、「第X四半期」を「XQ」と記載している箇所があります
- 当社は、FY22の連結財務諸表を作成しておりません。本資料においては、便宜的にFY22の業績として単体数値を用いたうえで、過年度比較を行っております
- 事業セグメント名の略称を、以下のように記載しております
 - ・ プロフェッショナルサービス事業 … PF事業 ※PF事業は、データ分析、システム開発を含むコンサルティング、人的支援を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です
 - ・ プロダクト事業 … PD事業 ※PD事業は、自社製および他社製プロダクトの提供を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です

エグゼクティブサマリ ～当期(FY25)の位置付けと進捗

- 中期経営計画(FY24-FY26)の柱である「構造改革」の2年目となる当期(FY25)は、成長路線へのシフトによる売上成長率10%以上の達成に向け、上期から引き続き順調に事業規模の拡大が進捗し、21期連続増収・過去最高益を狙える状況です
- このたび、当社業績の順調な進捗を背景とする利益予想の上方修正とともに、市場環境の不透明性をふまえ例年よりも規模を拡大した自己株式取得による株主還元を実施することとしました

	FY24 利益体質へ転換	FY25 再成長	FY26 構造改革の完遂
事業方針	高利益体質への転換による 低迷した利益率のV字回復	事業規模(=売上高)の拡大による 成長路線へのシフト	大胆な投資による成長の加速と 既存IT産業の枠組みからの脱却
重点指標 (連結)	EBITDAマージン (期初計画)13.6% → (実績)16.7%	売上成長率 10%以上 利益率はFY24の水準を維持し 過去最高益の更新を目指す	売上高: 140~150億円 EBITDAマージン: 16%超
重点施策	<ul style="list-style-type: none">PF事業の有償稼働率の改善SaaSのコスト構造の見直しマトリクス組織による業界攻略の強化	<ul style="list-style-type: none">営業基盤・体制の増強『三位一体』の価値提供の強化生成AI等、新たなソリューション開発非連続成長(M&A)の布石を打つ	<ul style="list-style-type: none">『三位一体』のビジネスモデルの確立非連続成長(M&A)の実行従来のIT企業の枠組みを超えた、 産業へインパクトのある事業の開発・拡充
実績	<ul style="list-style-type: none">計画を上回る利益率の達成創業来、過去最高益の更新20期連続増収の達成	【3Q実績】 売上・利益ともに二桁成長 <ul style="list-style-type: none">売上高 YoY +13.3%<ul style="list-style-type: none">PF事業は YoY +16.6%営業利益 YoY +32.0%利益面の通期業績予想を上方修正	—

エグゼクティブサマリ ～FY25の通期業績予想と株主還元方針について

【FY25 通期業績予想】 利益面を上方修正

- 上期の好業績の達成と、高稼働率の継続による粗利率改善が功を奏し、利益予想を上方修正
 - ・営業利益： 期初予想比(上限との比較) +250百万円
 - ・EBITDAマージン： 期初予想比(上限との比較) +2.4pt
- 売上高は、需要の強さに対して主にPF事業の稼働率が高止まりしているため、期初予想を据え置いた
- 直近2期と比較して、当期は売上成長率と収益性向上の両立を達成できる見通し

単位：百万円

	FY23実績	FY24実績	FY25連結予想 (25/5/9修正)
売上高	9,798	10,561	11,800
売上高成長率	+14.4%	+7.8%	+11.7%
EBITDAマージン	11.0%	16.7%	18.0% [期初予想から +2.4pt]
営業利益	681	1,349	1,750 [期初予想から +250]
営業利益成長率	△40.6%	+98.2%	+29.7%

【株主還元】 自己株式取得を決議

- 本中計の株主還元方針 = 連結総還元性向40%以上
- 本年度は上記方針の実現に加え、不安定かつ先行き不透明な経済状況をふまえ、例年より規模を拡大した自己株式の取得を決定
 1. 取得期間： 2025年5月12日～同7月31日
 2. 取得し得る株式の総数： 770,000株(上限)
発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合： 3.59%
 3. 株式の取得価額の総額： 7億円(上限)
 4. 取得目的：
 - ✓ 資本効率の向上
 - ✓ 不安定な市場環境における株価の安定性向上
 - ✓ M&Aや資本提携等の機動的な資本政策への備え
 - ✓ 当社役職員の株式報酬比率の拡大
- なお、FY25期末における剰余金の配当は、期初の方針から変更なく、1株あたり8円の安定配当(普通配当)を予想
- 上記実行後の連結総還元性向 = 70%超を想定

エグゼクティブサマリ ～売上・利益ともに10%以上の成長を継続

単位: 百万円	a	b		b/a-1	c	b/c
	FY24-3Q	FY25-3Q		増減率	FY25連結予想 (25/5/9修正)	3Qの進捗率
売上高	7,851	過去最高 *1	8,897	13.3%	11,800	75.4%
PF事業	5,444	過去最高 *1	6,346	16.6%	—	—
PD事業	2,407	過去最高 *1	2,552	6.0%	—	—
EBITDAマージン	18.6%		20.2%	—	上方修正 18.0%	—
営業利益	1,147	過去最高 *1	1,513	32.0%	上方修正 1,750	86.5%
[営業利益率]	[14.6%]		[17.0%]	—		—
PF事業	2,141		2,828	32.1%	—	—
PD事業	624		725	16.2%	—	—
調整額 *2	-1,619		-2,040	—	—	—
経常利益	1,153		1,581	37.1%	上方修正 1,800	87.8%
当期純利益	773		1,059	37.0%	上方修正 1,200	88.3%

評価

売上高 

・PF事業 

・PD事業 

利益面 

・PF事業 

・PD事業 

*1 3Q累計あたりの過去最高額の意

*2 調整額・・・各セグメントに配分していない全社費用(主に、報告セグメントに帰属しない営業部門、管理部門等における販売費及び一般管理費)

目次

- 株式会社ブレインパッドのご紹介
 - エグゼクティブサマリ
 - 2025年6月期 第3四半期のトピックス
-

[本資料について]

- 「20XX年6月期」を「FYXX」、「第X四半期」を「XQ」と記載している箇所があります
- 当社は、FY22の連結財務諸表を作成しておりません。本資料においては、便宜的にFY22の業績として単体数値を用いたうえで、過年度比較を行っております
- 事業セグメント名の略称を、以下のように記載しております
 - ・ プロフェッショナルサービス事業 … PF事業 ※PF事業は、データ分析、システム開発を含むコンサルティング、人的支援を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です
 - ・ プロダクト事業 … PD事業 ※PD事業は、自社製および他社製プロダクトの提供を通じて、顧客企業のデータ活用支援を行う事業です

AIエージェントの新サービス：マルチモーダルAIを活用した“現場DX”を加速

- マルチモーダルAI技術を活用して現場業務のDXを支援する研究開発企業であるFairy Devices株式会社と、ブレインパッド、および当社AIエージェント子会社の株式会社BrainPad AAA(エーキューブ)の3社で業務提携し、共同でのサービス開発を開始
- この提携により、日本の強みである製造業を中心に、さまざまな産業の「現場力」をデータ化し、各産業におけるAI活用とDXを促進

2025.3.28 発表

ブレインパッド、Fairy Devices、BrainPad AAAがマルチモーダルAI分野において業務提携
ー 協業第一弾として、現場業務のDXを支援するAI ネイティブなウェアラブルデバイス“作業動画解析AIエージェント”を市場投入 ー

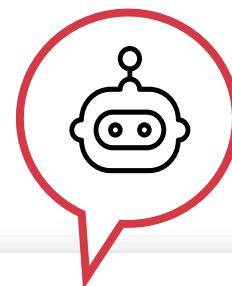
株式会社ブレインパッド(所在地:東京都港区、代表取締役社長 CEO 関口 朋宏、以下:ブレインパッド)、Fairy Devices株式会社(所在地:東京都文京区、代表取締役 藤野 真人、以下:Fairy Devices)、株式会社BrainPad AAA(ブレインパッド エーキューブ、所在地:東京都港区、代表取締役 辻 陽行、以下:BrainPad AAA)は、マルチモーダルAI(*1)分野において業務提携したことを発表します。3社は、本提携・協業の第一弾として、現場業務のDXを支援する「作業動画解析AIエージェント」を共同で開発しました。本AIエージェントは、同技術をさまざまな現場の技術作業に活用する新しいソリューションとして、今夏の提供開始を予定しています。



首掛け型ウェアラブルデバイス「THINKLET」(写真左)と、装着イメージ(写真右)

【サービス例】「THINKLET」で撮影された作業動画からAIが手順を解析

作業解析
AIエージェント



動画や製品説明書などから
作業内容を「言葉」に自動変換



匠の技を言語化・データ化

解析対象の動画

解析により手順書に変換

製品メンテナンス手順

標準作業手順の解説動画 - Ver 1.2



作業工程の詳細解説

総再生時間: 15:00

品質管理 作業手順

時間

工程

0:00

作業準備

準備 工具確認

2:15

分解作業

分解 手順解説

5:30

清掃工程

清掃 メンテナンス

8:45

組立作業

組立 品質確認

12:20

動作確認

テスト 完了確認

本ニュースリリースは、<https://www.brainpad.co.jp/news/news> に掲載

生成AI搭載の新プロダクト「Rtoaster GenAI」の導入が進展

- 生成AIを搭載したPD事業の新製品「Rtoaster GenAI（アールトースター・ジェンエーアイ）」は、まるで店員と接するかのような新しい顧客体験を武器に、リリース直後よりトライアル導入が順調に進展

新プロダクト「Rtoaster GenAI」とは？



生成AIにより、オンラインでは難しかった
まるで【店員と会話する体験】を簡単に



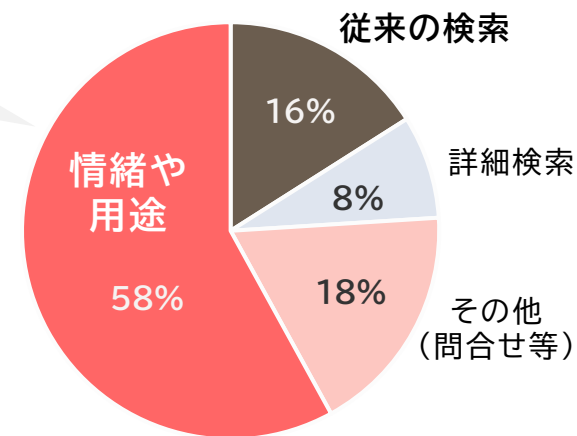
「Rtoaster GenAI」が提供する新たな価値

これまでは取得が難しかった顧客の本当の声(シーズ、ニーズ)の
データ収集が可能となり、マーケティングの質が向上

実際に入力された検索文章(百貨店の事例)

- ✓ 得意先の社長を怒らせてしまい、そのお詫びに持っていくものを探しています
- ✓ 甘さ控えめで、日持ちがして高級感のある和菓子を探しています
- ✓ 職場が変わるのでチームの8人程度に渡せるギフトを探しています
- ✓ カタチに残る、50代の母親への誕生日プレゼントを探しています

入力された検索文章の傾向



α版(トライアル版)導入件数

提供開始から4ヶ月の累計 **20社** ※海外企業 3社を含む

PPIHグループに対し、店舗内の商品をAIで検索できるサービスの開発を支援

- 株式会社株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH)グループにおいてリテール分野におけるテクノロジー活用を担う株式会社カイバラボとともに、「店舗内商品AI検索サービス」を共同開発し、一部の店舗で既に導入済み
- 本サービスは、インバウンド顧客の需要取り込みを目的に、顧客自身がスマートフォンに保存した画像をもとに店舗内の商品位置を迅速に検索できるもの

2025.5.9 発表

ブレインパッド、PPIHが提供する顧客向け「店舗内商品AI検索サービス」の開発を支援
ー インバウンド顧客のお買い物利便性向上を実現 ー

株式会社ブレインパッド(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 関口 朋宏、以下:ブレインパッド)は、5月9日、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長CEO 吉田 直樹、以下:PPIH)グループの株式会社カイバラボ(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 森谷 健史、以下:カイバラボ)が進める「店舗内商品AI検索サービス」の開発を支援したことを発表します。



KaibaLab

BrainPad

本ニュースリリースは、<https://www.brainpad.co.jp/news/news> に掲載

【ドン・キホーテ渋谷本店(取扱い商品数 約130万点)で稼働中】

スマホの画像から、欲しい商品が店舗のどこに在るかすぐ分かる
= インバウンド顧客の利便性向上による需要の取り込みを支援

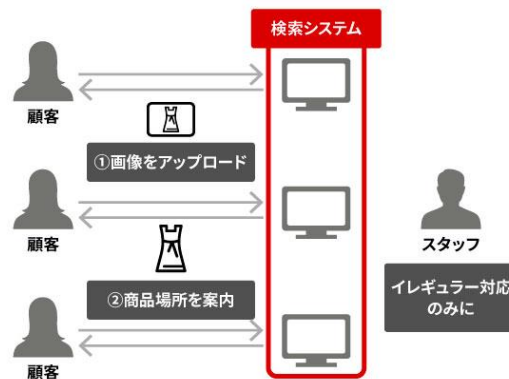
Before

「店舗スタッフに説明するのが大変」
「スタッフが案内してくれるまでに時間がかかる」



After

「欲しい商品の画像があれば、自分でパッと探せて便利!」



当社のAIエージェント事業については、こちらのIRTVの対談動画もご覧ください！

【子会社設立】AIエージェントと人間の協働で作業を効率化！

AIがあなたの仕事をどこまで代替できるか？〈ブレインパッド(3655)〉

<https://youtu.be/uzU7H-J9vk8>





(株)ブレインパッド

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目1番1号 六本木ティーキューブ

TEL:03-6721-7701(IR直通) FAX:03-6721-7010

www.brainpad.co.jp ir@brainpad.co.jp

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。従って、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する可能性があることを、ご承知おきください。また、グラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。